

http://www.minamih.net/



11・4・29(金)
南NEWS NO 6

私が勤務している学校では今週の月曜日に「1年生を迎える会」が行われました。かわいい1年生がお兄さん・お姉さん達の仲間入りをしました。

4月が終わり、まもなく5月。学校によっては5時間授業も始まり、子ども達の心身の疲れもピークに達しています。帰ってきたお子さんをお家ではゆったりとした気持ちで迎え、お話をよく聴いてあげて、時に抱きしめてあげてくださいね。親馬鹿と言われるのを恐れず、お子さんを褒めてあげてくださいね。自分が認められ、受容され、大切にされていると感じるとき、自分に自信を持ち、自尊の感情を育むことができます。

自尊の感情は意欲・チャレンジ精神を豊かにします。いいところを見つけて褒める、とても大切です。私が読んだ本の抜粋を掲載します。読んでください。南のアンパンマン

3年生 春季カップ 2011.4.24(日) 14:30～ 愛宕小学校

○南八王子レッド1-2愛宕-1 前半0-2

・得点者、アシスト、その経過

時間：後半3分 得点者：清水 泰平

経過：敵ペナルティーエリア付近まで団子で突破し、清水君が敵をかわしてシュート。

○めあての達成

・チームのめあて

- 1) 広がらず、団子でドリブルする。
- 2) ボールを持っている敵には早くアプローチする。
- 3) ドリブルは色々な技を使って、敵にぶつけないようにする。
- 4) ボールを取られたら取り返す。

・達成度 60%程度

理由) 若干広がってしまい、敵へのアプローチが遅く、ボールを取り返しに行く姿勢も少なかった。

○コーチ所見 (記入者：能登)

前半はみんなの元気がなく、ボール持った敵へのアプローチや、取られたボールを取り返す勢いが少なかったように思います。

その結果、3分にゴールキックからのボールをうばわれ、相手にドリブルで突破され失点し、6分には、オフサイドで得たフリーキックを敵に奪われると、やはりドリブル突破されて失点してしまいました。

しかし、後半に入ると、ようやく南らしいサッカーが出てきました。みんなで積極的に技を使いドリブルし、団子で相手ゴールまで突破すると、後半3分、清水君のシュートが愛宕のゴールネットを揺らします。

その後も梶谷君のダブルタッチや、荒引君のスクリーンからの素早いターンからのドリブルなどで攻め上がりますが、残念ながら追いつくことができず試合終了。

今回試合結果としては負けてしまいましたが、後半は南の団子サッカーの手応えをみんな感じる事ができたと思います。

次の試合は今回の試合の結果を生かし、前半から積極的に全力でガンバリましょう！



今回の試合で出た課題の「広がらなから
いれたら取返す」「ボールを持らなから
いれる敵へのアプローチは、ここからし
どは、とここれかっか、よ
たはい、と思いますの、よ
等、宜しくお願ひ致します。
by 能登 コーチ

3年生 春季カップ 2011.4.24(日) 11:10～ 狭間G

○南八王子ホワイト2-1シルク-D 前半2-0

・得点者、アシスト、その経過

☆前半23秒 珍部君、右コーナー付近より相手ゴール前にドリブルで切り込み左足でシュート。

☆前半11分47秒 前川君、コーナーキックより相手クリアーボールをトラップしそのまま右足シュート。GKの上を抜く。

○めあての達成

・チームのめあて

- 1) ドリブルを基に全員で攻めて守る。

・達成度

全選手、よくどりぶるをして、フェイントも出ていました。みんなで攻めて、みんなで守るがよくできていました。

○コーチ所見 (記入者：岩田知)

全体的に攻守共に全員がよく動いていた試合でした。ドリブル・技も冴え、練習の成果を発揮できたとてもよいゲーム展開でした。

by 岩田知 コーチ

3年生の2試合を観て 南のアンパンマンは24日の3年生の2試合とも観ました。みんな積極的にドリブルをしていたので嬉しく思いました。

レッドは平山さんがストップゴーやWタッチ、佐藤君もWタッチを魅せてくれました。GK宇和城君のナイスセーブもありました。全体的にランウイズザボールを駆使して、スペースを速いドリブルで駆け抜ける場面が多く観られました。だんごサッカーの良さが出ていました。

ホワイトは、前半、中途半端なだんごであったために相手のキックを抑えられず2点を許してしまいましたが、レポートにあるように後半だんごサッカーに徹し、清水君がドリブルで5人抜きを演じ、一矢を報いました。全員がターンを上手に使い、梶谷君のWタッチも決まっていた。

最後の一人を技を使って抜くことができれば4-2くらいで勝利した試合でしたよ。どちらのチームも次が楽しみです。



練習や試合にお菓子はNGです。

私もそうでしたが、昔の悪ガキはみんな学校から帰ると鞆をほっぽり出して遊びに出かけ、暗くなる頃家に帰るのが当たり前でした。ペコペコに腹を空かしてやっと家に着き、私の家の粗末なものでも食べる晩ご飯はいつもご馳走でした。

今は、飽食日本と言われ、血液の中に常にグリコーゲンがいっぱいという現状があります。食べ物の有り難みを感じる事がなくなっているとも言われています。お腹を空かして帰って、家のご飯を美味しくいただくこともよいのではないのでしょうか。南はコーチの指示・許可がない限りお菓子はNGです。 矢上